

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成三十年五月度 入選句 (投稿総数二千九十五句・小中学投句数千四百九十七句)

特選

初夏の風私のピアノの音のせて 大垣市 多和田 芽依(小六)

季語の「初夏」が効いた一句です。初夏は、夏の初めの若葉のころ、梅雨入り前のさわやかな季節をいいます。私の奏でるピアノの音が、初夏のさわやかな風に乗って、どこまでも響き渡っていくよくだというのです。初夏の風に心弾ませながら、ピアノの練習に打ち込んでいる様子が想像されます。

お母さん今日は休んで母の日に 大垣市 窪田 麗奈(小五)

母の日を迎えたお母さんに、作者のやさしい思いやりの心が呼びかけているような一句です。「今日一日は、お母さんはゆつくり休んで下さい。私がお母さんに代わって、家族みんなの世話をします。」といったメッセージを一句にこめて。

この句は、「母の日に」を下五に置いたところに表現の工夫がみられていて一句を引き立てています。

青空へ続く道へとシバザクラ 大垣市 牛田 温斗(小六)

とてもスケールの大きな一句です。地面をおおって咲く紅・白・ピンク色のじゅうたんを敷きつめたようなシバザクラが、丘を咲き上っていつて青空に交わるようだと詠い上げています。空の青と、シバザクラの紅色(白・ピンク)とが色鮮やかで明るい情景が美しく詠い上げるのに成功した一句です。

秀逸

たんぼぼがわたげになってそらのたび 大垣市 きりゆう ゆい(小二)

はるのかぜとてつないでさんぼみち 大垣市 高橋 俊太郎(小四)

金魚ばち元気に泳ぐ赤と黒 大垣市 柳瀬 侑輝(小四)

かしわもちわたしの手より大きな葉 大垣市 炭竈 玲亜(小四)

まつりだよちようちんひかるやまがでる 大垣市 安田 克己(小三)

更衣気分も軽く身も軽く 大垣市 田中 凜(小六)

ウォーキング上を見あげて初夏の空 大垣市 藤田 光聖(小六)

箭の料理が続く夜ご飯 大垣市 棚橋 万桜(小六)

クローバーわたしに運をくださいな 大垣市 杉本 陽菜(小五)

母の日はやっぱり姉妹でプレゼント 大垣市 梅田 悠有(小五)

入選

桜散り風が吹くたび舞い上がる 愛知県碧南市工藤 友之(中二)
 こいのぼり大空およぐゆったりと 大垣市 竹下 ゆうな(小三)
 ひまわりの発芽はまだかと待つ私 大垣市 小宅 穂之香(小六)
 春の風家族そろってランニング 大垣市 新川 留那(小四)
 夏まつり親と行くより友達と 大垣市 河本 りょうが(小四)
 くちをあげつばめのこどもえさをまつ 大垣市 伊藤 佑一(小四)
 雨の日に大喜びするかえるたち 大垣市 清水 あい子(小六)
 した青くなるまで食べたかき氷 大垣市 成瀬 謙伸(小四)
 ちまきたべみんなのかおがにつこにこ 大垣市 小川 はな(小六)
 ミンミンと朝のタイマーセミさんだ 大垣市 森下 颯人(小六)

入選

にらみあいつのでたたかうかぶとむし 大垣市 川 股 悠月(小六)
 えさ運ぶ小さな飛行機親ツバメ 大垣市 炭 竈 凜奈(小六)
 まどあけてひざしとびこむ真夏日だ 大垣市 松 岡 優奈(小六)
 春の風私のほほをなめました 大垣市 平 野 明里(小四)
 落ちないでせんこう花火あと少し 大垣市 平 木 大成(小六)
 汐干狩いっばいとれたよ夜ごはん 大垣市 中 村 歩夢(小五)
 いつもよりすこしごちそうこどもの日 大垣市 宮 森 彩羽(小五)
 母の日に手紙をそえてありがとう 大垣市 岡 田 真依(小五)
 まちどおしいゆびおりかぞえる夏休み 大垣市 金 森 公佑(小五)
 こいのぼり大きく泳ぐ風に乗り 大垣市 上 田 晴陽(小五)

選者吟

岐阜城を天に押し上げ椎若葉

幹

郎